



十二月号

このゆびとまれ

多里まちづくり推進協議会広報誌



多里まちづくり推進協議会

検索

多里まちづくり懇談会開催！ 11月19日(日) 13:30～15:30 桜ヶ瀬会館

行政より中村町長・角井副町長・青戸教育長・実延総務課長・出口福祉保健課長・島山地域づくり推進課長・安達室長・榎尾室長・牧主任の9名を迎え、総勢31名の参加でした。

地域からの提案を2点。

- ①今年はいノシシが多くて大変。
人材育成や技術の伝承は必要なのはどうしたらいいのでしょうか？
- ②FSC 認証やJクレジット森林のまち日南町。その価値高める日南町のSDG'sは？
星やオオサンショウオ・若松鉱山や化石・・・うまく絡めていかせるプランをつくりませんか？

回答をいただいた後、みんなで話し合いたいテーマを上げてワークショップ 20分 × 3セット

ワークショップ・話し合いのテーマ

	A	B	C	D
1	森林の観光活用	空き家対策	イノシシ	子ども支援
2	若松鉱山	若い世代の参画	買い物支援	人材確保と育成
3	まち協への不満	オオサンショウウオの保全	多里の観光	イベントの スクラップ&ビルド

いつもは黙って聞くだけの方も、好きなテーマで少人数でのワークショップでは笑顔や笑い声も聞こえました。どんな内容だったのでしょうか？..それは裏面を見てください

地域の食を考える会よりアンケートにご協力ください

地域で買い物がなかなかできなくなって久しいですが、
 買い物はどうしたものかとみんなであれこれ考えています。
 あれこれ考えてもあっちにぶつかりこっちで立ち往生！
 そこで皆さんの本当の気持ちを聞かせていただくことにしました。
 今回、ご家庭にアンケートを配布します。簡単なものです。
 どうぞご記入ください。
 回収方法は各自治会で違いますので自治会長さんの指示に従ってください。



みんなの人権小地域懇談会

インターネットを介した差別を許すな！

新屋自治会 11/26(日) 13:30～
新屋自治会館

萩原自治会 12/3(日) 9:00～
萩原構造改善センター



まちづくり懇談会の記録・・・なにになに？ふんふん・・・なるほどね！

○まちづくり懇談会が終わった後の役員会で内容の共有をしました。

気づかなかったことも多く、来年度からの事業にさっそく活かしていくこと、協議を重ねて助言も受けてさらに形作っていくこと、行政に届けていくことを整理しました。以下話し合った内容の抜粋です。

A-1 森林の観光活用を！

○林業作業道の観光活用を！

- ・日南町の林業をSDG'sやFSC認証の趣旨に合致させるには「林業・作業道の設置」も希少生物や生物多様性の保全を念頭に置くべきでは？
- ・林道や作業道にお金はかけられない・・・ならば、作業時だけでなく観光利用して活用率を高めては？

○広葉樹林の復活や多里の観光コンテンツと森林の観光活用でプランを作ってみては？

A-2 若松鉱山

今年はいろいろなイベントで全国的に注目を浴びましたが、安全性の確保や保全・活用についてもじっくり考えていかないといけません。

B-1 空き家対策

- ・なかなか使える空き家がない。家財の処理などに費用が掛かり進まないのでは？
- ・空き家が増えると賑やかさが失われ、地域がさみしくなる・・・活用してもらうためにも、使えるうちに空き家バンクの相談や提案が必要ではないか？

B-2 若者世代の参画

- ・同世代の知り合いがいないと参加しにくい。
- ・強制や縛り・干渉があると絶対に参加しない。
- ・まずは集い・語り楽しく活動できる場所や予算の確保が必要ではないか。次を担う人たちの仲間づくりを支援しないといけない。
- ・仲間づくりには地域外の人でもOKではないか。・・・さっそく検討を！

B-3 オオサンショウウオの保全

- ・国指定の特別天然記念物（文化財）としての「個体の保全」にとどまらず「生息（繁殖）環境の保全」まで必要。
- ・聖地新屋新山も幼生の個体が減少している。巣穴の破壊が要因。今こそ関係者や行政の協力が不可欠。

C-1 イノシシ

- ・今年はいノシシの被害があちこちで発生し大変だった。どこのだれに頼めばいいのかしっかりとわかる手立てが必要。
- ・高齢化対策は人材育成しかない。農閑期に1回くらい狩猟免許の講習を入れてほしい。
- ・猟師の労力に対してきちんとした対価が出るようにすることも大切。それによって携わる人も増えるのではないか。

C-2 持続可能な買い物支援

- ・たったもカード、多里は結構使う人が多い。
- ・やっぱり見て買いたい人⇔見ると欲しくなるから見ない人・・・どちらもおられるが地域を回ってこられる商売人には多くの方が買い物をされている。

C-3 多里の観光

- ・日野上以外にも銀杏の見どころが日南町内にも多里にもある。それをつないでみたらおもしろいのではないか。
- ・地元向けのイベントが少ないのではないか。多里で何かあることは知っていても、何があるのか話せる人は少ない。
- ・若松鉱山がブームになりつつあるが、360度VRなど発信できれば・・・映像があれば比較的簡単にできるらしい
- ・個人がたくさんいろいろな方法で発信していく方がいい。インスタとか・・・

D-1 子ども支援

- ・土日月1回でもセンターを開けるよう有償ボランティアができればいい。せっかく図書館でおもちゃを整備されたから利活用する方法を考えよう。

D-2 人材確保と育成

- ・「日南町版ハローワーク」というか町内の他業種が交流し、限られた人材の有効活用（副業やマルチワークなど）をコーディネートするプラットフォームのようなものを日南町に作っていく必要がある。

D-3 イベントのスクラップ&ビルド

- ・日南町体育祭など動員をかけないと運営できない開催できないイベントは時代錯誤。
- ・多里の火祭りもまち協と自治会を分ける必要はないのではないか？また、本来の愛宕さん宮島さんの成り立ちを若い人に伝承していく方法も必要。
- ・会議やイベントが重ならないように、行政も調整が必要ではないか。